



**GEO**

**リリースノート**

**製品概要**

バージョン : 10.0  
更新 : 2016 年 8 月

## 著作権

Copyright © 2002-2016 KEMP Technologies, Inc.. 著作権は KEMP Technologies Inc.が所有しています。KEMP Technologies および KEMP Technologies のロゴは、KEMP Technologies Inc.の登録商標です。

KEMP Technologies Inc.は、ソフトウェアおよびドキュメントを含むロードマスター製品ラインのすべての所有権を保有します。ロードマスターExchange アプライアンスの使用はライセンス契約に従うものとします。このガイドの情報は、事前の予告なしに変更されることがあります。

Microsoft Windows は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他すべての商標とサービスマークはそれぞれの所有者の財産です。

**制限事項**：著作権に関する文書およびその内容のすべては、所有者が提示しているままと記載しています。弊社は、ここに提示された情報が正しいことを確認するための努力を払っていますが、この情報の正確性については明示または黙示的に保証するものではありません。弊社は、このドキュメント上のすべての資料の誤りや不正確な情報に対して、可能であれば使用者が法律上または衡平法上の唯一かつ排他的な救済手段として受け入れられる適切な矯正の通知を提示します。この文書に記載されている情報の使用者は、受取人、または第三者によるコンパイル、またはこのドキュメントを提供したり、通信や公開の任意のアクションまたは不作為からの傷害または損害、およびこれらに限定されない現在または将来失われる利益および損失を含むあらゆる直接的、特殊的、付随的または派生的損害（を含むがこれらに限らず、あらゆる種類の損失、のれんの損傷）に対して、弊社が責任を負うことはできないことを認めるものとします。

このガイドで使われるインターネット・プロトコル（IP）アドレス、電話番号または他のデータが、実際に存在する連絡先に似ている場合も、実際のアドレス、電話番号または連絡先であることを目的としません。この文書に含まれる例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は説明のみを目的として提示されています。例示の内容に、実際のアドレスや連絡先情報が使用されている場合は、意図的なものではなく偶然の一致によるものです。

このソフトウェアの一部（2004年に発行、2006年に修正）は、Frank Denis が著作権を保有しています。2002年の著作権は、Michael Shalayeff がすべての権利を保有し、2003年の著作権は、Ryan McBride がすべての権利を保有しています。

この部分に関して、ソースおよびバイナリ形式での再配布および使用は、改変の有無にかかわらず、次の条件が満たされていることにより許可されます。

1. ソースコードの再配布は、上記の著作権表示、および本条件と下記免責条項を保持しなければなりません。
2. バイナリ形式で再配布する場合は、上記の著作権表示、本条件、およびドキュメント、または配布時に提供される他の資料に、以下の免責事項を複製して提示する必要があります。

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

（参考訳）

本ソフトウェアは、上記の著作権保持者によって“現状有姿”で提供され、明示または黙示の保証を含み、それに限定されない特定の目的に適合するような黙示的な保証は放棄されています。い



かなる場合においても、上記の著作権保持者、または貢献者は、損害の可能性について知らされているものも含めて、このソフトウェアの停止によるいかなる直接的、間接的、偶発的、特殊的、懲戒的、間接的損害（代替製品やサービスの調達費用、または、これらに限定されない使用不能損失、データ、または利益の損失、または事業の中断による損失）、またはいかなる原因およびその理論による債務、いかなる契約、厳格責任、または不法行為（不注意、またはその他を含む）による損害に対して、何ら責任を負わないものとします。

ソフトウェアおよびドキュメントに含まれる見解および結論は著者のものであり、上記著作権者の表現、または暗黙な公式方針を表すものではありません。

ロードマスターのソフトウェアの一部は、1989、1991 年に、51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA にある Free Software Foundation, Inc. と KEMP Technologies Inc. が著作権を保有し、GNU ライセンスのバージョン 2（1991 年 6 月）の要件に完全に準拠しています。このライセンス文書の写しをコピーして、正確に言葉通りに頒布することは誰もが許可されていますが、それを変更することは許されません。

このソフトウェアの一部は、カリフォルニア大学のリージェンツが 1988 年に著作権を所有し、すべての権利を保有しています。

この部分については、ソースおよびバイナリ形式での再配布および使用は、広告材料、およびそのような流通と使用に関連した資料、フォーム、ドキュメンテーションに、上記著作権表示と、ソフトウェアがカリフォルニア大学バークレー校によって開発されたことを認めるこの文節を複製して行うことで許可されています。大学の名前は、特定の書面による事前の許可なしに、本ソフトウェアから派生する製品を是認または促進するために使用することはできません。

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

（参考訳）

本ソフトウェアは“現状有姿”で提供され、特定の目的に対する商品性および適合性の黙示の保証に限定されずに明示的または黙示的ないかなる保証も致しません。

このソフトウェアの一部は、マサチューセッツ工科大学が 1998 年に著作権を保有しています。

この部分のソフトウェアおよび関連文書のファイル（“ソフトウェア”）は、変更、コピー、配布、他のソフトウェアとの併合、サブライセンスの発行、本ソフトウェアのコピーの販売、および/または本ソフトウェアの他製品への組み込みは、以下の条件に従うすべての人へ制限なしに許可されます。

ソフトウェアがすべてそのまま複製されているか、または重要な部分として使用されている場合、上記著作権表示および本許諾表示を記載しなければなりません。

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

（参考訳）

本ソフトウェアは、“現状有姿”で提供され、明示または黙示の保証を含み、それに限定されない特定の目的に適合するような黙示的な保証は放棄されています。いかなる場合においても、作者または著作権者は、ソフトウェアの使用またはその他の扱いに関連して、または関連しないで生



じる、契約、不法行為またはその他の行為によるいかなる請求、損害、またはその他の責任の債務は負いません。

このソフトウェアの一部（1995年に発行、2004年に修正）は、Jean-loup Gailly および Mark Adler が著作権を所有しています。

この部分のソフトウェアは“現状有姿”で、明示または黙示の保証なく提供されています。いかなる場合においても、作者はこのソフトウェアの使用から生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。

このソフトウェアは、次の制限事項を例外として、自由に変更、再配布し、商用アプリケーションへの使用を含めあらゆる目的に対して誰でも使用することを許可されます。

1. このソフトウェアの出所について虚偽の表示をしてはなりません。あなたが、オリジナルのソフトウェアを書いたと主張してはいけません。任意の製品でこのソフトウェアを使用した場合は、必須ではありませんが、製品ドキュメント内にその旨を述べていただければ感謝します。
2. ソースを変更したバージョンを使用する場合、オリジナルのソフトウェアとして誤解されないように、その旨を明示しなければなりません。
3. このソースを配布する場合は、これらの通知を削除したり変更したりすることはできません。

このソフトウェアの一部は、2003年に Internet Systems Consortium が著作権を所有しています。

この部分に関して、手数料の有無にかかわらず、本ソフトウェアを使用、コピー、変更、および/または任意の目的での配布は、上記の著作権表示とこの許可告知文があらゆるコピーに表示されている限り許可されます。

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

(参考訳)

本ソフトウェアは、“現状有姿”で提供され、作書は、市場への適合性や適切性へのすべての黙示的保証を含め、本ソフトウェアに関して一切の保証をいたしません。作者は、いかなる場合においても、本ソフトウェアの性能、使用または不使用によって生じるいかなるデータまたは利益の損失、契約、過失、またはその他の不法行為から生じる特別、直接的、間接的は損害、または結果的損害に対して一切の責任を負いません。

本製品は、正当な許可を得て、米国特許 6,473,802、6,374,300、8,392,563、8,103,770、7,831,712、7,606,912、7,346,695、7,287,084 および 6,970,933 を使用しています。



## 目次

1	GEO リリースノート概要 .....	6
2	リリース 2.2.35/7.1.35 .....	8
3	リリース 2.2.34.1/7.1.34.1 .....	9
4	リリース 2.2-32a/7.1-32a .....	10
5	リリース 2.2-30/7.1-30 .....	11
6	リリース 2.2-28b/7.1-28b .....	12
7	リリース 2.2-28a/7.1-28a .....	13
8	リリース 2.2-28/7.1-28 .....	14
9	リリース 2.2-26/7.1-26 .....	15
10	リリース 2.2-24a/7.1-24a .....	16
11	リリース 2.2-22b/7.1-22b .....	17
12	リリース 2.2-22/7.1-22 .....	18
13	リリース 2.2-20/7.1-20 .....	19
14	リリース 2.2-18b/7.1-18b .....	20
15	リリース 2.2-16/7.1-16 .....	21
16	リリース 2.1.14/7.0-14 .....	22
17	リリース 2.1.12a/7.0-12a .....	23
18	リリース 2.1.10/7.0-10 .....	24
19	リリース 2.1.8e/7.0-8e .....	25
20	リリース 2.1.8/7.0-8 .....	26
	ドキュメント履歴 .....	27



### 1 GEO リリースノート概要

本ドキュメントでは、現在のリリースで追加された機能と解決された問題について説明します。

GEO は 2 つの形態で提供されます。

- スタンドアロン GEO 製品
- KEMP 負荷分散（ロードマスター）製品に含まれるグローバルサーバー負荷分散（GSLB）機能パック

本ドキュメントは、この GEO の利用形態の両方を対象としています。ソフトウェアをアップグレードする前に、ロードマスターの設定を全てバックアップすることを推奨します。

本ソフトウェアのインストールと設定の再読み込みは、最大 5 分（場合によってはそれ以上）かかります。その間にロードマスターがアップグレードされますが、この間はトラフィックを送信できません。

#### 1.1 前提条件

ソフトウェアをアップグレードする場合、以下のことを推奨します。

- ネットワーク管理者または同等の知識を持つ方がアップグレードしてください。
- バックアップした設定の復元に関して問題が発生した場合、または、ロードマスターの設定やその他メンテナンスに関する問題が発生した場合は、<http://kemptechnologies.com/documentation>にあるドキュメントを参照してください。

#### 1.2 サポート

ソフトウェアリリースのロード時に問題が発生した場合は、当社の Web サイトから KEMP のサポートスタッフにお問い合わせください。KEMP のサポートエンジニアが直ちに対応いたします。

## 1.3 互換製品

- GEO スタンドアロン製品
- グローバルサーバー負荷分散 (GSLB) 機能パックを含むロードマスター

## 2 リリース 2.2.35/7.1.35

ファームウェアバージョン 2.2.35/7.1.35 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 8 月 2 日にリリースされました。

### 2.1 新機能

#### 1. GEO においてブラックリストをサポート

WUI と API から GEO のブラックリストを利用できるようになりました。

#### 2. GEO における FQDN ごとの設定

GEO の Time To Live (TTL) およびスティッキ DNS の設定を FQDN ごとに行えるようになりました。

#### 3. クラスターごとにグループ化できるように、GEO のヘルスチェックを強化

"Unanimous Cluster Healthchecks" という新しいオプションを追加しました。このオプションを有効にすると、同じクラスター内にあるすべてのサイトに対して共通のヘルスチェックを行わせることができます。

### 2.2 修正された問題

- |         |                                                                                         |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| PD-7225 | <b>listcustomlocation</b> API コマンドにおいて、追加されたカスタムロケーションが表示されるように修正                       |
| PD-7134 | 表示されなかったメニュー項目が表示されるように、GEO ロードマスターの WUI を修正                                            |
| PD-7481 | "Selection Criteria" (選択基準) として "Location Based" を使用した際に、間違っただサイトが選択されてフェイルオーバーされる問題を修正 |

### 2.3 既知の問題

- |         |                                                                                                                                         |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| PD-7770 | GEO の近接スケジューリングの "Selection Criteria" (選択基準) に問題が存在する                                                                                   |
| PD-7516 | API において、GEO ロケーションベースのオプションで "Everywhere" を選択できない                                                                                      |
| PD-7338 | チェッカーが <b>tcp</b> に設定されていると、 <b>listclusters</b> API コマンドが <b>CheckerPort</b> の値として 0 を返す。TCP ヘルスチェック使用時のデフォルト値は 80 で、その値が返されなければなりません。 |
| PD-7522 | API 経由で GEO のマップが変更され、そのサイトの IP アドレスが指定されていない場合、何も返されない (エラーが表示されるはず)                                                                   |



## 3 リリース 2.2.34.1/7.1.34.1

ファームウェアバージョン 2.2.34.1/7.1.34.1 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 5 月 18 日にリリースされました。

### 3.1機能拡張

1. GEO のカスタムロケーションを削除できるようになりました。
2. FQDN のカスタムロケーションを追加するための PowerShell API コマンドおよび Java API コマンドを追加しました。

### 3.2修正された問題

- |         |                                                  |
|---------|--------------------------------------------------|
| PD-6657 | 近接スケジューリング方式におけるプライベート/パブリックサイトのプリファレンスに関する問題を修正 |
| PD-6641 | 内蔵の地理的位置情報データベースを使用するサイトに関する問題を修正                |
| PD-6626 | 近接選択方式に切り替え時における既存サイトの地理的座標の分解能を修正               |
| PD-6215 | パブリック IP アドレスを GEO 上でプライベートとして扱えるように API コマンドを追加 |

### 3.3既知の問題

- |         |                                                                      |
|---------|----------------------------------------------------------------------|
| PD-7225 | <code>listcustomlocation</code> API コマンドにより、追加されていないカスタムロケーションが表示される |
|---------|----------------------------------------------------------------------|

## 4 リリース 2.2-32a/7.1-32a

ファームウェアバージョン 2.2-32a/7.1-32a に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2016 年 1 月 26 日にリリースされました。

### 4.1 修正された問題

- |         |                                                    |
|---------|----------------------------------------------------|
| PD-6514 | FQDN のサイト制限に関する問題を修正                               |
| PD-6476 | GEO の近接スケジューリングの安定性が向上                             |
| PD-6095 | 国の追加/削除およびマッピングロケーション変更を行う GEO の API コマンドに関する問題を修正 |
| PD-6078 | API コマンドを使用して、FQDN の IP にカスタムロケーションを追加できるようになりました。 |
| PD-5915 | ネームサーバーを追加できない問題を修正                                |
| PD-3642 | GEO の重み付けラウンドロビンの統計情報に関する問題を修正                     |

### 4.2 既知の問題

- |         |                                              |
|---------|----------------------------------------------|
| PD-6626 | 既存の FQDN を近接負荷分散が行われているサイトに変更すると、自動名前解決が失敗する |
| PD-6627 | FQDN の座標に「不正データ」を入力すると、自動名前解決が失敗する           |

## 5 リリース 2.2-30/7.1-30

ファームウェアバージョン 2.2-30/7.1-30 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 11 月 3 日にリリースされました。

### 5.1 機能拡張

1. GEO の柔軟性が向上し、クライアントがパブリック IP とプライベート IP のどちらから来たかに応じて、パブリックとプライベートのいずれかを選択して応答できるようになりました。
2. GEO パートナーのステータスインジケータの機能が拡張されました。

### 5.2 修正された問題

PD-5478	GEO の IPv6 用ラウンドロビンスケジュール方式に関する問題を修正
PD-5282	GEO の近接スケジューリング方式に関する問題を修正
PD-4863	GEO のカスタムロケーションを編集できない問題を修正
PD-5853	GEO のヘルスチェックに関する問題を修正

### 5.3 既知の問題

PD-5582	リソースチェックパラメーターおよびクラスターヘルスチェックに関する問題が GEO に存在する
PD-5915	GEO において、WUI から複数のネームサーバーを追加できない。この問題は API で回避できる。

## 6 リリース 2.2-28b/7.1-28b

ファームウェアバージョン 2.2-28b/7.1-28b に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 8 月 28 日にリリースされました。

### 6.1 機能拡張

1. CVE-2015-5477 の脆弱性を軽減するため、ファームウェアを更新しました。

### 6.2 修正された問題

- PD-5581            GEO のウェブユーザーインターフェイス (WUI) において、複数のロケーションが割り当てられてしまう問題を修正

### 6.3 既知の問題

- PD-3642            GEO および重み付けラウンドロビンスケジューリングを使用しているとき、統計情報が正しく更新されない
- PD-4863            ロードマスターGEO のカスタムロケーションを無効にできない

## 7 リリース 2.2-28a/7.1-28a

ファームウェアバージョン 2.2-28a/7.1-28a に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 7 月 29 日にリリースされました。

### 7.1修正された問題

PD-5251 GEO のその他パラメーターが一部設定できない問題を修正

### 7.2既知の問題

PD-3642 GEO および重み付けラウンドロビンスケジューリングを使用しているとき、統計情報が正しく更新されない

## 8 リリース 2.2-28/7.1-28

ファームウェアバージョン 2.2-28/7.1-28 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 6 月 24 日にリリースされました。

### 8.1機能拡張

1. GEO のログに関する不要なオプションを削除
2. パートナーの SSH トンネルに関するステータスインジケータを追加しました。

## 9 リリース 2.2-26/7.1-26

ファームウェアバージョン 2.2-26/7.1-26 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 5 月 1 日にリリースされました。

### 9.1 機能拡張

1. 新しいロードマスターは、最新の GEO データベースがプリインストールされています (IPv6 対応)。
2. 改善された GEO パートナー IP 入力方法 - HA の設定において、"**Remote GEO LoadMaster Access**" テキストボックスへの共有 IP アドレスの入力のみ必要となりました。

## 10 リリース 2.2-24a/7.1-24a

ファームウェアバージョン 2.2-24a/7.1-24a に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 2 月 11 日にリリースされました。

### 10.1 機能拡張

1. クラスターを表示する RESTful API が GEO クラスターに新たに追加されました。

### 10.2 修正された問題

- |         |                                                                                      |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| PD-3344 | GEO クラスターで SSH を無効にしてセキュリティを強化できるように修正                                               |
| PD-3319 | 複数のインターフェイスを持つ GEO ロードマスターにおいて代替ゲートウェイのサポートを追加                                       |
| PD-3160 | <b>modmap</b> RESTful API コマンドに関する問題を修正                                              |
| PD-3104 | <b>addmap</b> RESTful API コマンドがすべての場合で機能するように修正                                      |
| PD-3075 | <b>ModifyFQDN</b> コマンドで <b>isolateips</b> パラメーターを設定しようとする<br>と大量のエラーメッセージが表示される問題を修正 |



## 11 リリース 2.2-22b/7.1-22b

ファームウェアバージョン 2.2-22b/7.1-22b に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2015 年 12 月 3 日にリリースされました。

### 11.1 既知の問題

- PD-3160      RESTful API の **modmap** コマンドにバグが存在する
- PD-3104      **Selection Criteria** を **Real Server Load** に設定すると、RESTful API の **addmap** コマンドが機能しない
- PD-3075      PowerShell の **ModifyFQDN** コマンドで **isolateips** パラメーターを設定しようとすると、大量のエラーメッセージが表示される

## 12 リリース 2.2-22/7.1-22

ファームウェアバージョン 2.2-22/7.1-22 に関する詳細は、以下のセクションを参照してください。これは 2014 年 11 月 25 日にリリースされました。

### 12.1 機能拡張

1. GEO のセキュリティを強化しました。
2. 同じ IP アドレスを持つ複数の仮想サービスを、GEO 実サーバー負荷クラスターチェックに追加できるようになりました。
3. CVE-1999-0662 の問題を解決するため、BIND のバージョンを 9.9.6-ESV に更新しました。

### 12.2 既知の問題

- |         |                                                                                                   |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| PD-3160 | RESTful API の <b>modmap</b> コマンドにバグが存在する                                                          |
| PD-3104 | <b>Selection Criteria</b> を <b>Real Server Load</b> に設定すると、RESTful API の <b>addmap</b> コマンドが機能しない |
| PD-3075 | PowerShell の <b>ModifyFQDN</b> コマンドで <b>isolateips</b> パラメーターを設定しようとする、大量のエラーメッセージが表示される          |

## 13 リリース 2.2-20/7.1-20

### 13.1 新機能

#### 1. GEO リッスンインターフェイス指定機能

どのインターフェイスを使用して DNS 要求のリッスンと応答を行うかを定義できるようになりました。

#### 2. 複数のインターフェイスによる GEO 要求リッスン機能

DNS の応答と要求に対し、GEO が複数のインターフェイスを持てるようになりました。

### 13.2 機能拡張

#### 1. GEO API コマンドを追加

### 13.3 修正された問題

PD-2644 一部の GEO 設定の同期に伴う問題を修正

## 14 リリース 2.2-18b/7.1-18b

### 14.1 新機能

#### 1. GEO の機能拡張

フェイルオーバーやパブリック/プライベートサイトの隔離を実現する GEO の新機能を追加しました。また、GEO の 2 つの選択基準オプションの名前を、その機能をよりの確に表すものに変更しました（"Location Based"を"Proximity"に、"Regional"を"Location Based"に変更）。

### 14.2 修正された問題

PD-1941 GEO クラスター同期に関する不要なオプションを削除

### 14.3 既知の問題

1. GEO のヘルスチェック間隔が設定と異なる

## 15 リリース 2.2-16/7.1-16

### 15.1 新機能

1. ロードマスターGEO オペレーティングシステムが Linux カーネル 3.10.28 上で動作

ロードマスターGEO のベースが Linux バージョン 3.10.28 に変更されました。

### 15.2 修正された問題

PD-1687          迅速な変更に対応できるように GEO 同期メカニズムを改善

## 16 リリース 2.1.14/7.0-14

### 16.1 機能拡張

1. Web ユーザーインターフェイス (WUI) から GEO の有効化および無効化が可能に (GEO が無効な場合、パケットフィルター設定の変更が可能)

### 16.2 修正された問題

- |         |                                          |
|---------|------------------------------------------|
| PD-1145 | IPv6 ネットワーク上でロードマスターGEO への DNS リクエストが可能に |
| PD-1277 | BIND をバージョン 9.6-ESV-R10-P2 に更新           |

## 17 リリース 2.1.12a/7.0-12a

### 17.1 機能拡張

1. GEO の検索順序を変更

### 17.2 修正された問題

- |        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| PD-771 | サイト障害時のリカバリ設定がパートナーに対して更新されなかった問題を修正 |
| PD-808 | FQDN がパートナーに対して更新されなかった問題を修正         |

## 18 リリース 2.1.10/7.0-10

### 18.1 既知の問題

1. サイト障害時のリカバリ設定がパートナーGEO に対して更新されない
2. 場合によっては、FQDN がパートナーGEO に対して複製されない



## 19 リリース 2.1.8e/7.0-8e

### 19.1 機能拡張

1. 自動ライセンス設定/サポートインフラストラクチャー（ALSI）の機能拡張

### 19.2 修正された問題

PD-700 サービスの種類を変更したときのリポートの問題を修正

## 20 リリース 2.1.8/7.0-8

### 20.1 新機能

#### 1. IP 範囲の選択条件

IP アドレスまたは IP アドレス範囲に適用する、ロケーションまたは国の指定が可能になりました。

#### 2. 証明書機能

SSL 証明書のインポートおよび管理機能が導入されました。

### 20.2 修正された問題

PD-392            GEO の同期に伴う問題を修正

## ドキュメント履歴

日付	変更	変更理由	バージョン	回答者
2015 年 12 月	リリース更新	2.2-32/7.1-32	7.0	LB
2016 年 1 月	小規模な変更	「著作権表示」の更新	8.0	LB
2016 年 4 月	リリース更新	2.2.34.1/7.1.34.1 のリリース	9.0	LB
2016 年 8 月	リリース更新	2.2.35/7.1.35 のリリース	10.0	LB